

雄勝地区



山形県河北町見学ツアー開催!

9月14日(日)、石巻市と友好都市である山形県河北町への見学ツアーが、226人の中から抽選で選ばれた30人が参加し開催されました。

午前中は、「紅花資料館」で古今(ここんびん)難(なん)や特産品の紅花を使った染物などを見学し、その後、温泉施設のある「ひなの湯」で昼食をとりました。

午後から見学した400年の伝統を誇る「谷地どんがまつり」では、勇壮(ゆうそう)な凱旋(がいせん)奴(ぬ)を先頭(せんとう)に神輿(かみこし)、稚児(わらわ)などの祭行列(まつりぎょう)や囃子(はやし)屋台(やたい)が町を練り歩き、会場は熱気に包まれ、参加者もまつりを満喫(まんじつ)しました。



神楽大会 大盛況!

9月7日(日)、雄勝B&G海洋センターにおいて「第32回石巻・桃生・牡鹿地方神楽大会」が開催されました。この大会は、各地区の神楽保存会が伝承活動の一環として毎年開催しています。

当日は、大勢の人が来場し、各地区の神楽保存会が舞う迫力ある、そして優美な舞いを堪能しました。また、演目「橋引(はしひき)」では、紅白の餅を撒(ま)き、会場の賑わいは最高潮に達しました。

桃生地区

9月13日(日)、桃生地区最大のイベント「ものごふれあい祭 2008はねこ踊りフェスティバルin桃生」が桃生植立山公園を会場に開催されました。当日は、心配された雨もほとんど降らず、約25,000人の来場者で賑わいました。

跳躍感動!

メインイベントの「はねこ踊りパレード」では、1,000人を超える参加者が躍動感のある踊りを披露し、会場内の参観者も飛び入りで参加するなど熱気に満ち溢れていました。

祭りの最後には、2,000発の花火が打ち上げられ、夜空を彩りました。



河南地区



長寿と健康を祝う

9月12日(金)、北村の特別養護老人ホーム一心苑で、敬老会が開催されました。入居者やショートステイ利用者とその家族が参加し、第一部の式典では、喜寿・米寿者に敬老祝い金、最高齢者(101歳)などに記念品が贈呈されました。北村小学校の4年生17人がダンスと合唱で長寿を祝い、北村保育所の児童が花束を贈呈すると、お年寄り(おきなご)はうれしそうに笑顔で見つめていました。

入居者代表によるお礼の言葉の後、第二部の長寿を祝つ会では食事を楽しましました。

牡鹿地区



牡鹿網地島で爆笑の青響く!

9月7日
 (日) 網地島の網小医院の体育館にて、第2回全国学生落語真打大会が行われ、打大会が行われました。

この大会は、「全国学生落語真打大会実行委員会」により、日本の伝統芸能である「落語」を通じて、笑いによる元気な島づくりを目指すと、昨年からの開催されています。

客が集まり、200人を超える大観衆となりました。今年、全国13大学31人の応募があり、当日は、予選を勝ち抜いた6大学7人が学生真打の栄冠を目指しました。プロ顔負けの巧みな話術で自慢の演目を披露し、絶妙な落ちで観客の爆笑を誘っていました。

また、特別ゲスト国分健二氏によるアトラクションや特別審査員桂才賀師匠のプロの技に、会場全体が大爆笑の渦に包まれ、大盛会のうちに幕を閉じました。

まちの話題

北上地区

いよいよおたけだんぽ!

9月6日(土)、北上中学校体育館において、北上地区敬老会が開催されました。

式典には、77歳以上の631人が招待され、224人が出席しました。

77歳と88歳になられた代表の方に祝い金が贈呈され、当日出席された最高齢者の佐々木正一さん(94歳)と佐藤浜子さん(93歳)に市長より花束が贈呈されました。

式典後のアトラクションでは、地元北上文化協会の皆さんによる唄や踊りなどが披露され、楽しい時間を過ごしました。



石巻地区



つなぐ「たすき」に思いを込めて

9月5日(火)、総合運動公園において、第4回石巻地区と東松島市の中学校駅伝競走大会が行われ、女子51チーム、男子53チームが参加しました。

日ごろの練習の成果を発揮すべく、真剣なまなざしで「たすき」を受け取り、仲間のために1秒でも早くゴールできるよう、歯を食いしばって足を前に出す姿が印象的でした。

応援の皆さんも大きな声援を送り、選手達と一緒に「たすき」をつないでいました。

議場に響くトランペットの音色

9月4日(月)、市議会議場において、市内中学校に勤務する木村正市さんを招き、トランペット演奏による「第3回議場コンサート」が行われました。演奏前にホースなどを使って音を出すパフォーマンスを披露した後、「アマポーラ」、「千の風になつて」を含む4曲を演奏しました。



お昼休みを利用した20分間という短い時間でしたが、訪れた皆さんは、トランペットの綺麗で力強い音色に魅了されていました。

